

要点チェック



赤シート付き

歯科技工士国家試験対策
全国統一国家試験完全対応

6

矯正歯科技工学
小児歯科技工学



医歯薬出版株式会社

 知識の整理と重要事項

A 線屈曲用プライヤー (図2-1)

1. ヤングのプライヤー

先端の片側の内側は平面で、他側は円柱状に3段階に細くなっている。内面には溝が刻まれているので、矯正用線の保持が確実である。φ 0.7 mm以上の矯正用線の屈曲に適している。

2. アングルのプライヤー

先端は片側が円錐形で、他側が四角錐形である。バードピークプライヤーともよばれ、エッジワイズ法の細い矯正用線の屈曲や各種のループをつくるのに適している。線の保持は強固であるが、線に傷がつきやすい。φ 0.6 mm以下の矯正用線の屈曲に適している。

3. アダムスのプライヤー

両側とも四角錐形で内面は平らで、鉗子を閉じたときに先端は接触し、

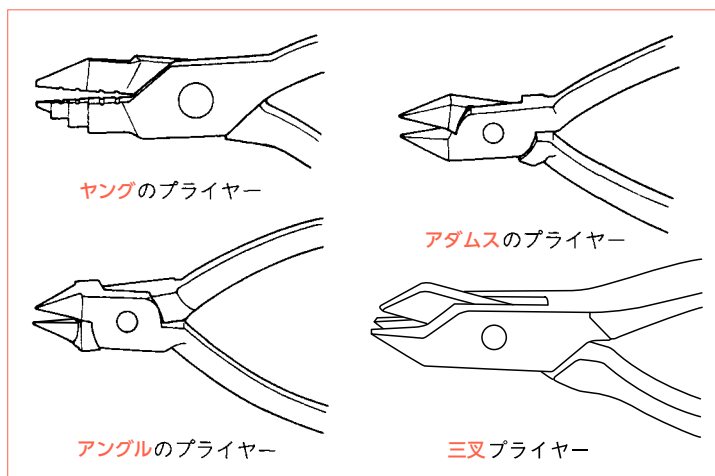


図2-1 線屈曲用プライヤー

知識の整理と重要事項

矯正歯科治療で用いられる種々の装置とその治療目的を表6-1に示す。

A 舌側弧線装置

1. 目的 (a)

全類的な矯正治療を必要としない、数歯の位置異常を有する症例の治療を目的とする。舌側に装着されるため、装置による審美的障害が比較的少ない。

2. 装置の構成 (b)

主線、維持装置、維持バンド(帯環)、補助弾線によって構成される(図6-1)。

3. 使用材料と器具 (c)

表6-2に示す。

4. 製作法と製作上の注意点 (d)

1) 維持バンドの製作と適合

維持バンド調整の前処置として、歯間分離が行われる。

2) 印象採得

維持歯に維持バンドを装着してモデリングコンパウンドで印象採得するが、著しい叢生や歯列内にアンダーカットがある場合には、アルジネート印象材が用いられる。

3) 作業用模型の製作

印象に石膏泥を注入して、作業用模型を製作する。バンドの舌側面に維持管が鑢付けされている場合には、管の中に石膏泥が入り込まないように、管をワックスで覆っておく。

4) 維持装置の鑢付け

維持管は、バンド舌側面の鑢付け面に広く流鑢したうえで鑢付けする

1), 2) は、歯科診療所における操作である。

A 舌側弧線装置

問1 舌側弧線装置の構成は

答1 主線，維持装置，維持バンド（帯環），補助弾線

問2 補助弾線とは

答2 長さ2.5～3.0 mmの矯正用線で，その弾性によって歯の移動に必要な矯正力を得る。

問3 補助弾線に用いる矯正用線の直径は

答3 $\phi 0.5$ mm

問4 前歯・小臼歯の近遠心移動に用いられる補助弾線は

答4 指様弾線

問5 前歯1歯の唇側移動に用いられる補助弾線は

答5 単式弾線

問6 1歯の唇側・頬側移動に用いられ，単式弾線よりも緩やかな矯正力が得られる補助弾線は

答6 複式弾線

問7 数歯（前歯・小臼歯）の唇・頬側移動に用いられる補助弾線は

答7 連続弾線

問8 単式弾線の鑲付け角度は主線に対して何度か

答8 45°

問9 複式弾線の鑲付け角度は主線に対して何度か

答9 45°

問10 指様弾線の鑲付け角度は主線に対して何度か

答10 90°

問11 連続弾線の鑲付け角度は主線に対して何度か

答11 45°

B ナンスのホールディングアーチ

問12 ナンスのホールディングアーチはどこに使用されるか

答12 上顎（口蓋部）

問13 ナンスのホールディングアーチの使用目的は

答13 ①加強固定，②保隙，③上顎前方牽引装置（顎外固定装置）への利用

問14 ナンスのホールディングアーチの構成は

答14 主線，維持バンド，パラタルボタン